

石川 馨先生(1915-89) 生誕100年を記念して

2015年9月28日(月) 石川馨先生 生誕100年記念国際シンポジウム(於:東京大学)
「人間石川馨と品質管理」Web公開 <http://www.juse.or.jp/resource/>



石川馨先生は、早い時期から、専門家だけによるのではなく全社的に
行う品質管理の必要性を訴えられ、日本的品質管理(今日のTQM)の基礎作りに大きく貢献されました。また、戦後の復興から高度経済成長期、先進国入りの各時代に品質管理の普及・推進をリードされたパイオニアの一人です。さらに、魚の骨、イシカワ・ダイヤグラムと呼ばれる特性要因図の開発、管理図の応用法の体系化、粉塊混合物のサンプリング法の確立等にも成果をあげられました。

東京大学教授として、人材育成にも努め、学内外から優れた弟子が輩出しました。

人間性尊重の経営を進めるためにQCサークルを創設し、日本国内はもとより、海外への普及にも尽力されました。1978年に東京で開催された第1回国際QCサークル大会は、今日もアジアを中心に毎年開催され、先生は「QCサークルの父」と呼ばれています。

国際品質アカデミー(IAQ)や国際品質会議(ICQ)の創設、デミング賞の海外企業への開放を主導され、ISO理事を含む要職を歴任されました。米国、台湾、中国、英国、インド他、多くの国々に招かれ、日本的品質管理の紹介と移転に尽力されました。

武蔵工業大学では学長として11年間に亘り、自主性と世界的視野を持った学生の育成を、全学的に強く訴えられ、優秀な卒業生を輩出し、同大学の発展に寄与されました。

先生の生誕100年にあたり、今なお示唆に富む先生の品質管理の思想や教えを再認識し、今後の持続的成長に向け、品質管理を発展させましょう。

[略 歴]

1939年 東京大学工学部応用化学科卒業
1947年 東京大学工学部助教授 60年 同教授
1976年 東京大学名誉教授、東京理科大学教授
1978年 武蔵工業大学(現・東京都市大学)学長

[著 書]

『日本的品質管理』, 日科技連出版, 1981.
『QCサークル綱領』, QCサークル本部, 1970.
『現場のQC手法』, 日科技連出版, 1968.
『品質管理入門』, 日科技連, 1954. を含む31冊

[栄 誉]

ASQ Ishikawa Medal設立(1993)
QCサークル石川 馨賞(1990)
勲二等瑞宝章(1988)
ASQ 名誉会員(1986)
ASQ・Shewhart Medal(1983)
デミング賞本賞(1952) 他多数
ASQ: American Society for Quality(米国品質学会)

